

YMCA 大阪青年 1.2

「出会い」と「語らい」をデザインする



大阪YMCA大会2023

新年あけましておめでとうございます。

私たちは、希望をもって共に生きる社会を目指しています。共に希望を語り、困難な課題に向き合い、解決する方策を考えて実行します。

目の前には、戦争や貧困、精神的なストレス等の課題がある一方、その危機感是人によって差異があります。今まで「あの人の課題」「あの国のせい」と責任を明確化することによって自分とその課題への取り組みの関係を切り離してきました。しかし、責任の明確化だけでは解決できず、現時点で事象を引き起こしている人や国がすべての責任を負って解決できるわけではありません。そもそも、誰もが生まれる環境を選ぶことはできません。先進国に生まれた者は、大量のエネルギーを使用し、余った食べ物を大量廃棄する暮らしを続けています。環境や人権の課題は要因が複合的に重なっているために単純な解決策の提示が困難です。

大阪YMCAでは、本年度よりESGの視点を経営に取り入れています。Eは環境、Sは社会、Gはガバナンスです。ESGの視点で我々大阪YMCAが何をしている団体かを社会に伝えていくことで、認知度を高め、支援者や賛同者を広く募っていきます。

『出会い』と『語らい』をデザインする

～あなたとわたしの幸せが共に実現できる
社会をめざして～

創立150周年を迎える2032年のありたい姿を、VISION150として描きました。策定のプロセスでは、ユースが関わり、レイパーソンとスタッフで議論を重ねました。ユースからは「いばしょ」「つながり」がキーワード、今後大切にしたいこととして「対話」と「共感」がありました。VUCA(※)の時代、不安がまん延している時代にこそ、人と人が「出会い」そして「語らう」。このこと自体が意味を持ち、ホッとしたり、もう一度やってみようという勇気、共に課題に向き合う力が湧いてくるのではないのでしょうか。

私たちは、人間的という視点を大切にしています。生活の中で、悩みが解決しない時は、専門家に相談をします。専門家はある問いに対して解決策を提案してくれます。一方、よく生きるという視点で見たとき、必ずしも専門家がすべてを解決できるというわけではありません。体調の不調を感じ病院に行くと身体的な部分の治療は専門家によって可能であるものの、心理的な不調は必ずしも病院だけで解決できるものではありません。

本年度の年間聖句、「賜物を生かして互いに仕えなさい。」(ペトロの手紙一 4章10節: 新共同訳)という聖句は、相手のことを思いやる「愛」が基礎にあります。賜物は、私たちすべてに与えられている力であり恵みです。但し、その内容には差異があり、仕え合うことが必要です。人は愛されて育ち、人を愛するようになっていく。家族で実現できないことは、社会で、コミュニティで、実現していく。愛と奉仕の精神によって人が出会い、語らっていく中で社会を創り、私たち自身が豊かな人生を送っていきたく願っています。

※VUCA: Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)という4つの単語の頭文字をとった言葉で、目まぐるしく変転する予測困難な状況のこと。



大阪YMCA 総主事

おがわ けんいちろう
小川 健一郎

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

ユース事業部(公益財団法人)

2024年辰年、あなたの目標は何ですか？

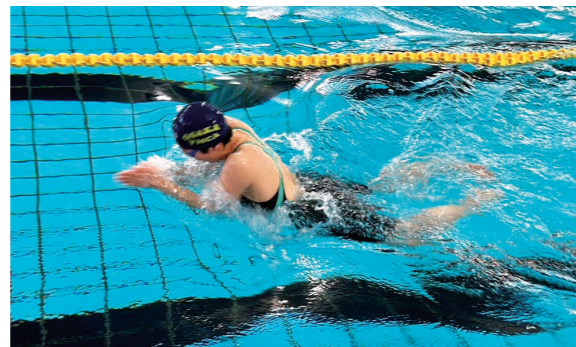
ユース事業部 桃の里YMCA アクアティック チーフディレクター
わしみ 鷺見 ちひろ

あけましておめでとうございます。2024年、新しい年がスタートしました。新年を迎えると「今年の目標は何ですか？」と尋ねられることがよくあります。私は、目標を持つことは生活に活気を生み、子どもたちが前向きに生きていくことにつながると考えています。

アクアティック(水泳)事業では、年間3回、YMCA主催の大会を実施しています。その中でも11月の水泳交歓会は、25メートル泳種目や特別競技(昨年は水中ボール入れ)も行われ「プールの運動会」として、幼児や初めて参加する子どもたちが「水泳大会って楽しいな」と感じられる入門編の大会として実施されています。またこの大会は、リーダーも参加することができるので、私自身もリーダーになってから毎年出場し、自己記録を更新できる喜びを感じています。「今年中にクロール35秒で泳ぎたい!」と言っていたメンバーが、この大会でその目標を達成することができ、喜ぶ姿が見られました。そして「次は背泳ぎで40秒以内!」と、早くも次の目標を掲げていました。この水泳大会に取り組む子どもたちを通して、改めて目標を持つことの大切さを学んでいます。

今年の干支は辰年です。古代中国では水中に棲むと言われている龍の如く、大阪YMCAの水泳プログラムを活力旺盛な年にしていくために、子どもたち自らが「目標を見つけること」ができる環境を創り出すことに力を注ぎたいと考えています。

ちなみに、今年の私の目標は「交歓会でのベストタイム更新!」です。皆さんの目標は何ですか?今年もよろしくお願いいたします。



ユース事業部(学校法人)

大阪府立水都国際中学校・高等学校 アカデミックフェア2023-2024

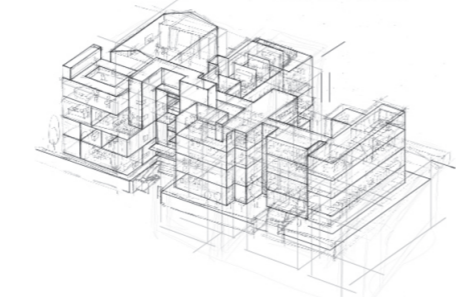
大阪府立水都国際中学校・高等学校 藤田 勝如

大阪府立水都国際中学校・高等学校では年に一度、学びの成果報告会である「アカデミックフェア」を実施しています。このイベントを通して生徒たちは1年間の学校での学びをまとめ、外部に向けて発表を行います。

本校で実施している①IBコースの学びの報告、②SDGsに対する中高全学年によるプロジェクト Suito Action Project(以下SA)、③中学校の総合的な学習の時間で実施している Creative Learning (CL)の3つの取り組みを柱にし、大ホールで行う各プロジェクト代表によるプレゼンテーション、体育館で開催するSAとIBの全グループによるポスターセッション、SA全グループによるワークショップ、その他多くの成果物の展示などを展開します。

2024年2月3日(土)に本校での実施を予定しており、当日は保護者やプロジェクトの協力者をはじめ、今年是全国の教育関係者もお招きして開催いたします。ぜひ皆さまもご参加いただき、水都国際の学びをご覧いただければ幸いです。

SUITO Academic fair 2023-2024



Date: 2024/2/3(Sat)
Place: SUITO KOKUSAI Junior and senior high school
Contents: IB(International Baccalaureate)
SA(Suito Action Project for SDGs)
CL(Creative Learning) ...etc



昨年度の代表発表スライド

大阪YMCA大会2023

はじめの一步 みんなでつむぐ VISION150

11月23日(木・祝)に大阪YMCA大会2023を開催しました。当日は会場参加が161名、オンライン参加が約40名で、合計200名を超える方が参加されました。

オープニングは、大阪YMCAインターナショナルスクールの生徒の皆さんと吉川 尚志大会実行委員長によるフラッシュモブダンスがあり、盛大な幕開けとなりました。

今年度は司会にユースボランティアリーダー、モザイクアートやカフェなどに高校生、VISION150座談会にはリーダーOBOGや高校生が参加し、ユースの活躍が随所に現れた大会となりました。



プログラム①: タイムカプセル



VISION150公式発表を記念して、10年後はどのような社会になるのかを想像し、「私」や「みんな」がお互いに協力して、よりよい社会を築くために何が出来るのかを考えた未来へのメッセージを募集しました。松尾台幼稚園、しろがね幼稚園、桃の里YMCAの子どもたちが「10年後の夢」というテーマで描いた124の絵と、会員やスタッフから96のメッセージ、合計220もの絵とメッセージが、それぞれの思いと共にタイムカプセルに詰め込まれました。カプセルは土佐堀会館のガラスケース内に展示され、10年後に開封します。

プログラム②: AI モザイクアート~作品名「共生の約束」~

テクノロジーと人の調和をめざしたアート作成にチャレンジしました。「10年後の未来の社会に期待するキーワード」をAI画像生成の指示や条件等を設定する用語(プロンプト)として事前に収集しました。「スマイル」や「日々是好日」など様々なキーワードがありました。集まった78のキーワードと、VISION150の全文テキスト、当プロジェクトメンバーとして中核を担った大阪府立水都国際中学校・高等学校の生徒のプロンプトを入力し、画像を完成させました。大会当日は会場の出席者にもご協力いただきながら、合計47,742もの色とりどりのドットシールピースを色指定のある升目データに貼り合わせて、一辺2メートルもある大作として完成させました。完成したアートは土佐堀館に展示予定です。



プログラム③: Y MachA Cafe (わいまっちゃんかふえ)



大阪府立水都国際中学校・高等学校の「茶道に親しむ会」のメンバーが、1階ロビーで抹茶とお菓子のサービスを実施しました。VISION150公式発表の一体感や共感を演出するために生徒がデザインしたオリジナルスイーツ250個全てが、当日のうちに完売しました。

カフェの売上金と合わせ、純利益全額25,234円をクリスマス献金へ寄付しました。

活動紹介

自分たちがまだ知らない、大阪YMCAで行っている活動を知っていたくために、ポスターセッション形式で活動紹介を行いました。実際の

現場の様子が伝わるよう写真等で工夫したポスター紹介や、迫力のある映像での紹介、学生たちによる英語や日本語を交えながらの紹介など、YMCAらしい多様なあふれる紹介となりました。



VISION150

『出会い』と『語らい』をデザインする ~あなたとわたしの幸せが共に実現できる社会をめざして~

上記のVISION150が完成し、公式発表されました。アンケートや座談会といったYMCAに連なる皆さんの協働によって作られました。VISION150イメージ動画は、大阪YMCAが創立当時から大切にしている想いがVISION150にも脈々と引き継がれていることが伝わる内容でした。その後のセッションでは、ユース世代の会員やスタッフが登壇し、YMCAや今後に向けての想いを語りました。



2023年度受賞者の皆さま

(敬称略)

●奉仕の書

奉仕の書は、長年にわたり顕著な活動をされた会員の方のご芳名を「奉仕の書」に記し、その働きを讃える賞です。

有田 和子

大阪南YMCAのファミリーカーニバルやまち美化等の活動に継続的に参加し、ユースの育成や地域活動の推進に貢献されました。



●特別表彰

2020~2023年度 全大阪YMCAユースボランティアリーダー会

コロナ禍で活動が制限される中でもオンライン等で子どもたちに交流の場を提供し続け、活動再開後も安心して参加できる環境作りにも努められました。

●特別献金感謝表彰

五十川 康子 岩坂 千種・岩坂 二規 鉄谷 明

株式会社カナオカ機械 株式会社バーナル
取締役会長 金岡 重雄 代表取締役 清水 諭

●永年継続会員

【50年継続会員】 桜井 和之

【25年継続会員】 飯沼 眞 國友 朝子 三浦 明 柳谷 利起

【10年継続会員】 蒲田 泰宏 切通 菜摘 小島 宏樹 佐藤 政樹

二宮 聡 松尾 朋巳

6YMCA協議会とソウルYMCA120周年記念式典

ランゲージセンター 事業長 なかじま あかね 中島 茜

6YMCA協議会は、ソウル・台北・香港中華・メトロポリタンシンガポール・ホノルル・大阪の6つのYMCAからなる、平和の構築と友好をベースにした会議です。

今年度は10月24日(火)からソウルで行われ、メンタルヘルスをメインピックに各YMCAの取り組みが共有されました。SNSを取り入れたオンラインカウンセリング、自分の思いを文字にすることで気持ちを整理していく日記の開発など、興味深く参考になるものがありました。

また今回は、120周年を迎えたソウルYMCAの記念式典も続けて開催され、さらに多くのYMCAから来賓が招かれました。式典に出席されたミャンマーのヤンゴンYMCAの総理事は、「このようにYMCAのつながりを絶やさないことが、今、大変な思いをしている自国のユースたちの未来につながると信じている」とお話しされていました。

私自身も両方のイベントを通じて、YMCAのつながりを強く感じることができました。協議の場ではどんなアイデアにも耳を傾けられ、

受け入れられている温かさがありました。

皆さまにも、そのような体験をしていただけるよう、世界につながる事業を展開していきたいと思えます。



いまこそ、いじめについて行動しよう

ピンクシャツデー2024

～ PINK SHIRT DAY 2024 ～

大阪YMCAでは、2015年度より「いじめ」と向き合う取り組みのひとつとして、毎年ピンクシャツデーを全国のYMCAと共に実施しております。これまでの継続した取り組みにより、年々地域の行政、教育委員会からの後援や賛同、小中高校での取り組み、企業・団体の協賛など広がりを見せています。

「いじめ」の問題は、大きな社会課題ですが、学校や地域社会において様々な取り組みが行われ、一定の成果が見られています。しかし、低年齢層におけるいじめやネットいじめの増加傾向、職場のハラスメント相談件数の増加など、子どもやユース世代においては、複雑さと深刻さを増しているといわれています。

YMCAでは、このような深刻ないじめの問題に対して、学校・教育機関、地域社会、企業・団体、行政の皆さまと共に、一人ひとりが『傍観者にならない』こと、『自分ではない誰かのために』行動することを呼びかけ、ポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を生み出していきたいと考えています。

そのために、大阪YMCAでは、全国YMCAと共に世界的な「いじめ」反対運動であるピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY) 2024を実施いたします。



ピンクシャツデー：2024年2月28日(水)

取り組み期間：2月1日(木)～2月29日(木)

ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちがいじめについて考え、行動する1日としています。

インフォメーション

早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話しをいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

第357回

日時：2024年1月19日(金)7:30～8:30

証し：杉村 マキさん(東大阪地域ユースボランティアリーダー会 会長)

第358回

日時：2024年2月16日(金)7:30～8:30

証し：瀧中 慎介さん(大阪YMCA ユース事業部 大阪市内地域事業 責任者)

場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



【お問い合わせ】

大阪YMCA本部事務局

TEL：06-6441-0894

E-mail：info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2023年11月度報告・敬称略

【継続会員】

伊藤 俊彦

大谷 勝彦

澄川 菊代

二宮 聡

【継続賛助会員】

大阪ガス株式会社

有限会社杉本写真場

大阪YMCA
ホームページ



ボランティア
スクエア

